

缶サットリーダー養成プログラム(CLTP)

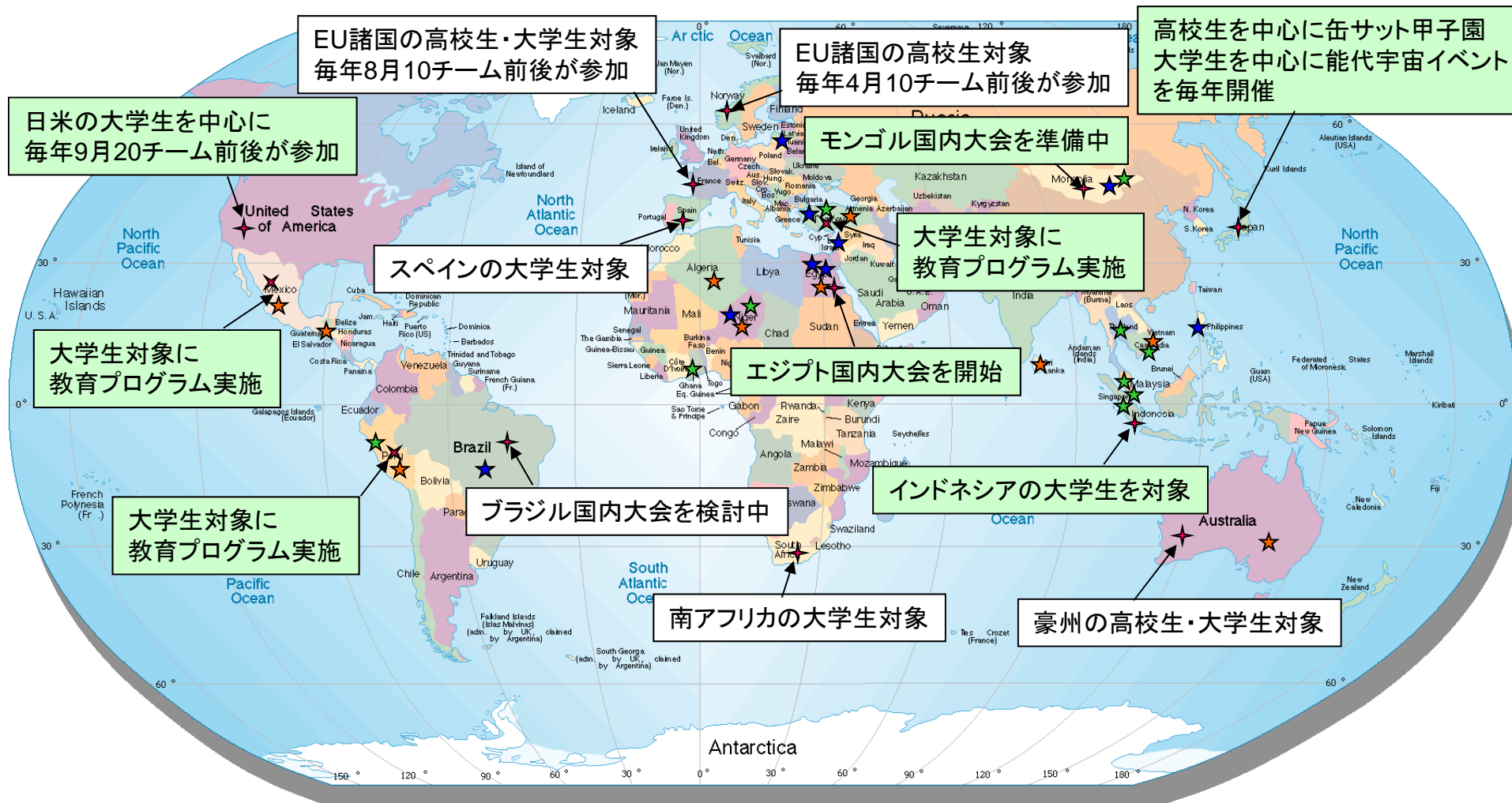


目的:我が国が国内で進める宇宙教育を広く宇宙開発新興国に普及させ、共通した人材育成基盤を構築する。我が国及び各国の若手人材を共に育成することにより、将来の宇宙開発クラスタ形成に必要な人的ネットワークを構築すると同時に、我が国技術に親和的なマーケットを創出する。

手法:海外において宇宙教育を推進する教育・研究者を招き、我が国の宇宙教育の理念・手法、および缶サット教育を実践的に体験する。これを元に各国語で缶サット教育に関するテキストを作成、それぞれの国で缶サット教育を実施する。受講後も教育・研究者のネットワークを維持し、今後の宇宙開発クラスタ形成を指導するコア集団形成を目指す。

また缶サット教育の最終段階となる競技会を各国内で実施。その後、優秀チームによる世界大会を我が国が中心となって実施し、宇宙開発分野における優秀な若手人材の早期交流を実現する。

世界に広がる缶サット教育



- ★ CLTP1参加
- ★ 缶サット大会開催(日本とは情報交換)
- ★ CLTP2参加
- ★ 缶サット大会開催(日本と協力 / CLTP卒業生が運営に関与)
- ★ CLTP3参加予定
- ★ 缶サット教育プログラム実施(日本と協力 / CLTP卒業生が運営に関与)

超小型衛星研究開発事業 (UNIFORMプロジェクト)

○「新成長戦略」(平成22年6月閣議決定)

V 科学・技術・情報通信立国戦略～知恵と人材のあふれる国・日本～

5. フロンティアの創出 「宇宙開発利用の推進」

- ・ 小型衛星・小型ロケットの開発
- ・ アジアを中心とした需要の取込み
- ・ リアルタイム地球観測網の構築

○「宇宙分野における重点施策」

(平成22年5月宇宙開発戦略本部決定)

- ・ 小型衛星(含:超小型衛星)・小型ロケットによる新たな市場の開拓
- ・ 宇宙外交の推進(東アジア地域での高頻度な災害監視 等)
- ・ 宇宙システムのパッケージによる海外展開の推進(キャパシティ・ビルディングのための技術協力等による海外需要の取込み 等)

■事業概要

大学や中小企業が参画し易い超小型衛星による高頻度な地球観測の実現に向けた研究開発を、アジアなどの宇宙新興国との協力によるキャパシティ・ビルディングと組み合わせて行うことにより、新たな市場開拓、宇宙外交の推進、国内外の宇宙人材の育成などの複数の政策目的に貢献することを旨とする。

■事業により期待される効果

- アジアなどの宇宙新興国の人材育成と研究開発とのパッケージによる海外展開を通じた、宇宙新興国の需要の取込み
- 大型衛星では困難な高頻度(準リアルタイム)観測の実現



アジアなどの宇宙新興国との協力(イメージ)

■事業計画 (平成22年度～26年度の5年計画) 和歌山大学、東京大学等による大学連合において実施

平成22年度

- ・ 超小型衛星による高頻度観測の実施に必要な信頼性の高い人工衛星バスシステムの開発
- ・ APRSAF(アジア太平洋地域宇宙機関会議)等を活用したアジア等新興国とのミッション検討
- ・ 宇宙人材育成のための教育プログラム開発

平成23、24年度

- ・ アジアなどの宇宙新興国との具体的な協力を開始(1～2カ国程度)
 - EM(地上試験モデル)、FM(飛行モデル)の開発(1号機、2号機)
 - 宇宙教育プログラムの実施

平成25、26年度

- ・ 開発した超小型衛星(1号機、2号機)の打上げ、運用開始
- ・ 新たな別の国との協力を開始
 - EM、FMの開発
 - 宇宙教育プログラムの実施